

芝一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2024/11/1

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名
						さび病
1	サプロール乳剤		普	トリホリン	3	○

芝一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2024/11/1

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名					
						シバ ツトガ	タ マナヤガ	ス ジキリ ヨトウ	シバ オサ ゾウム シ	シバ オサ ゾウム シ 成虫	コ ガネム シ類 幼虫
1	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	○	○	-	○	-
2	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	○	○	-	-	-
3	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	○	○	-	○	-
4	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	○	○	○	-	-	-
5	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	○	-	○	○	-	○
6	ダイアジノンSLゾル		普	ダイアジノン	1B	○	-	○	-	○	○
7	ダイアジノン乳剤40		劇	ダイアジノン	1B	○	-	○	○	-	○
8	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	○	-	○	-	○	○
9	トアローフロアブルCT		普	BT	11A	○	-	○	-	-	-
10	トクチオン細粒剤F		普	プロチオホス	1B	-	-	-	-	-	○
11	トクチオン乳剤		普	プロチオホス	1B	○	-	-	-	-	-
12	バシレックス水和剤	抑制	普	BT	11A	○	○	○	-	-	-

芝－西洋芝－西洋芝(ベントグラス)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2024/11/1

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						ダ ラ ー ス ポ ット 病	ウ ヘ ル ミ ン ト ス ポ リ	葉 腐 病 (ブ ラ ウ ン パ ツ チ)
1	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	-	-
2	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	○

芝－日本芝－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2024/11/1

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						さ び 病	葉 腐 病 (ラ ー ジ パ ツ チ)
1	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	○
2	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	○
3	マネージ乳剤		普	イミベンコナゾール	3	○	-
4	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○

8-(1) 芝

病害虫名	防 除 方 法	参 考 事 項
さび病	生育期 1. 徒長すると発生し易いため、刈込みをよくする。また、刈りかすの除去につとめる。 2. 施肥は窒素過多を避け、カリを十分に施す。 3. 風通しをよくして、葉面を乾きやすくする。 4. 中間宿主ヘクソカズラを除去する。	・発病適温は 20～25℃。比較的冷涼な春と秋に発生し、盛夏に拡がらない。 ・高温、日照不足の時に、葉面の湿潤状態が長くなる条件では被害が大きい。
葉腐病（ブラウンパッチ）	生育期 1. 過湿条件で発生しやすいため、土壌の透水性、通気性を良好にする。 2. 朝露の原因となる夕方のかん水は避ける。 3. 施肥は窒素過多を避け、バランスの取れた施肥を行う。 4. 酸性土壌で発生を助長するので、土壌酸度を適正に保つ。 5. 目土からの病原菌の持ち込みに注意する。	・病原菌は、糸状菌（リゾクトニア菌）である。 ・主に寒地型芝草に発生する。 ・発病適温は 25～30℃で、梅雨明けの急激な高温多湿時に発病する。
葉腐病（ラージパッチ）	生育期 1. 過湿条件で発生しやすいため、土壌の透水性、通気性を良好にする。 2. 酸性土壌で発生を助長するので、土壌酸度を適正に保つ。	・病原菌は、糸状菌（リゾクトニア菌）である。 ・日本シバの最も重要な病害である。日本芝の他、バミューダグラス、セントオーガスチングラスにも発生する。 ・発病適温は 20～25℃。雨期と秋雨期に発生のピークがある。気温 25℃以上になる頃から病勢は衰える。
スジキリヨトウ	生育期 夏期に芝を頻繁に刈り取る。	・スジキリヨトウは芝草地の樹木、灌木、丈の高い草などに卵塊を産みつける習性がある。
シバツトガ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	・高温乾燥を好み、年 3 回発生する。 ・幼虫ふ化期は 5 月上旬～6 月上旬、7 月～8 月中旬、8 月下旬～10 月中旬。
コガネムシ類	生育期 成虫が出現する期間に適用薬剤を散布する。 環境整備 成虫のえさとなるような樹木の植栽を控える。	・主な種類は、ウスチャコガネ、マメコガネ等。 ・成虫出現期間 ウスチャコガネ 4 月中旬～5 月中旬、マメコガネ 6 月上旬～7 月下旬 ・幼虫が芝草の根を加害する。